

令和2年12月26日(土)に当事業所において、利用者さん3名(岡本勇樹さん、宮崎智美さん、山田和隆さん)と地域で生活されている当会本人支部のきずな会より1名(中元政孝さん)がリモートでのインタビューにお答えしました。



参加者については、病気について学ぶことに対し意欲的で、ご自身の意見や想いを伝えることができる方に研究協力について説明したうえで、参加の希望を伺いました。参加することが決まった当事者の皆さんは、大変興味を持たれ、事前資料を熟読して研究協りに臨まれました。

当日は、国立がんセンターの先生、研究に携わる先生方も参加され、ZOOMを使用してWEB上でインタビューが始まり、参加された当事者の皆さんは初めての経験に興味津々でした。

一字一句ルビとイラストが描かれた「わかりやすい版」の冊子を確認しながら、難しい用語やイメージのしにくい抽象的な言葉に対して、素直な意見が飛び交いました。こうしたやりとりの間にも、当事者の皆さんから質問のあった医療器具について等、画像をわかりやすくご提示いただきながら理解を深めつつ、約3時間の情報交換が行なわれました。

インタビューに協力された皆さんの感想

① なぜ参加しようと思いましたか。

- ・病気について勉強したかった。(宮崎)
- ・がんが多いから、がんの事を知りたかった。(山田)
- ・年齢を重ねるにつれて、病気になる心配が出てきたから。(岡本)

② 参加する前の大腸がんに対するイメージは？

- ・怖い、漠然とした不安。(宮崎)
- ・恐ろしい病気。(山田)
- ・がんは怖い、というイメージ。(岡本)

③ 参加した後の大腸がんに対するイメージは？参加して感じたことはありますか？

- ・どんな病気かがわかった。イラストで教えてもらってわかりやすかった。(宮崎)

・大腸がんのことについて知らないことをたくさん知れたのでよかった。怖いだけでなく、色々な治療法があるとわかった。(山田)

・早期の発見が大事だと思った。(岡本)

④ 自分の意見や考えを伝えることができましたか。

- ・意見を伝えることが出来た。事前に調べて勉強した。(宮崎)
- ・意見を伝えることが出来た。テレビなどで知った知識について聞いてみた。(山田)
- ・緊張はしたが、質問されたことには答えることが出来た。(岡本)

⑤ 初めてリモート会議をしてみてどう感じましたか。

- ・コロナで直接会えなくても話を聞くことが出来たのでよかった。途中で(通話が)途切れたりしたので、少し心配になった。(宮崎)
- ・遠くにいる人の話も聞けてよかった。来てくれた先生がわかりやすく話してくれたから、リモートの相手の話もわかった。(山田)
- ・こういったご時世で、そういった会議が行われていることを知って勉強になった。(岡本)

【初めてのリモートでのインタビューに参加して】



☆祝☆ 新成人・還暦を迎えられた 大阪市手をつなぐ育成会の会員の皆様をご紹介します

今年度、新成人となられる皆様、還暦を迎えられる皆様、おめでとうございます。

大阪市育成会の会員の皆様の中でも、新成人となられる方が9名、また還暦を迎えられる方が5名いらっしゃいます。

コロナ禍ではありますが、新成人となられた方は、夢に向かって力強く進まれますよう、また還暦を迎えられる方は、今まで以上に健康に留意して趣味や生活を満喫されますように願いを込めて、ご家族のご協力、事業所様のご協力をいただき、ご紹介させていただきます。

～❀～ ～❀～ ～❀～